

第4回 鹿児島県ビーチバレーボール中学生男女選手権大会（2人制）について

標記大会は、第6回 全国中学生ビーチバレーボール選手権大会の県予選会であるので、全国中学生大会のルールに準じて実施するため、下記を理解して大会に臨むこと。

【競技・審判上の注意】

大会競技委員長

大会審判委員長

1 本大会は2026年度 公益財団法人 日本バレーボール協会制定2人制ビーチバレーボール競技規則に準じて実施する。

2 ネットの高さは、男子：230cm，女子：215cmとする。コートは8m×16m。

3 すべて1セットマッチ，予選はラリーポイント21点キャップ，決勝トーナメントはラリーポイント21点ノーキャップで行う。

※ 天候や参加チーム数，その他の諸事情により競技方法を変更する場合もある。

4 チームは統一された服装で参加すること。

5 ボールをプレーする動作中やプレーを阻止しようとする際に，ネットに触れた場合は，タッチネットの反則となる。

6 次のように，アタックヒットが完了したときは反則となる。

(1) 相手チームのフリープレー空間にあるボールをヒットしたとき。

(2) 指を開いたティッププレーや，指を用いてティップをする際に固定し合わせずに，アタックヒットを完了したとき。

(3) 相手チームのサービスしたボールがネット上端より完全に高いところにあるときに，アタックヒットを完了したとき。

(4) オーバーハンドパスで，両肩に対して直角でない方向にアタックヒットを完了したとき。ただし，自チームの選手へボールをセットアップした場合は例外とする。オーバーハンドパスで，自チームヘトスを上げたボールが風で流されて相手コートに入った場合は，アタックヒットの反則としない。

7 チームの最初のヒットでは，オーバーハンドの指の腹を使用して行わなければ，1つの動作中で連続して接触してもよい。チームの最初のヒット中にオーバーハンドの指の腹を使うプレーの場合，1つの動作中であってもボールは指／手の連続的な接触をしてはならない。

強打されたボールの守備動作では，指を用いたオーバーハンドアクションであってもボールを一時的に長引いて接触してもよい。

8 ブロックへの接触は，チームの第1回目のプレーとなり，その後さらに2回のプレーができる。

- 9 ブロックのとき、ボールが1人あるいはそれ以上のブロkkerに連続（素早く連続的に）して触れても、それが1つの動作であれば許される。その後さらに2回のプレーができる。
- 10 サービス順は、コイントスの後に監督またはチームキャプテンによって通告されたサービス順を守る。レフェリーの吹笛後5秒以内にボールをヒットしなければならない。
- 11 監督またはゲームキャプテンが、競技中断（タイムアウト）の要求をする場合は、はっきりとしたハンドシグナルで申し出ること。
- 12 タイムアウトは1セットにつき1回とし、両チームの得点合計が21点になったときはテクニカルタイムアウトとする。
- 13 ボールのイン・アウトの判定についてはボールマークプロトコル「BMP」をどの選手でも要求することができる。要求する際は指で「C」のシグナルをレフェリーに示すこと。チームは1セットあたり最大2回不成功となるまで「BMP」の権利が与えられる。
- 14 両チームの得点合計が7の倍数ごとにコートスイッチを行う。
- 15 コート上の選手が負傷及びその他の理由によって試合を続けられなくなった場合は、没収試合とする。
- 16 審判は割り当てられたチームの選手で行うこと。
- 17 試合間については、前の試合終了10分後、連続試合になる場合は15分後、または設定時刻を設けて行う。

○中学校6人制(インドア)ルールとの相違点○

- * コートの広さは16m×8mの長方形（片方のコートが8m×8m）【2】
- * 1セットは21点とする。【3】
- * 指の腹を使つてのプッシュやフェイントは反則である。【6(2)】
- * 相手コートにオーバーハンドパスで返球するとき、肩に対して直角方向の、まっすぐ前か、まっすぐ後ろにしか返すことができない。【6(4)】
- * チームの第1回目のプレーでもダブルコンタクトがあり得る。【7】
- * ブロックはチームの第1回目のプレーとなる。【8】
- * サーブは5秒以内に打たなければならない。【10】
- * 要求できるタイムアウトは1回のみ。【12】
- * イン・アウトの判定についてボールマークプロトコル「BMP」を要求できる。【13】
- * 両チームの得点の合計が7の倍数でコートを入れかわる（コートスイッチ）。【14】

※ 【 】内の数字は「競技・審判上の注意」の番号を表しています。